

NTT技術史料館かわら版

「重要科学技術史資料(愛称 未来技術遺産)」に登録されたポケットベルB型RC11が、NTT技術史料館に!

ポケットベルB型RC11

ポケットベルB型RC11は、一九六八年にポケットベル無線呼出サービスがスタートしたときに使われた最初の端末です。携帯電話登場以前の個人の通信ツールとして、その後のポケットベルの爆発的普及の礎となった存在として重要であることから、二〇一一年九月に未来技術遺産に登録されました。



(株)東芝製

松下通信工業(株)製

東京23区から開始されたポケットベルのサービスは、通信方式の進展と需要の増加に伴ってサービスエリアが全国に広がっていききました。サービス開始当初は150MHzの周波数帯を使い、アナログトーン信号方式が用いられ、伝送方式は、後にディジタル方式、FLEX-TD方式へと進化しました。サービス開始時は、呼び出し音の鳴動のみでしたが、後には数字情報を送信することもできるようになり、端末によってはアルファベット、カタカナ、漢字が画面に表示できる機器も発売されました。「ポケットベル入力(ベル打ち)」などと呼ばれたテンキーを用いた語呂遊びでのメッセージのやり取りは、新たなコミュニケーションツールとして、高校生を中心とする若年層を中心に爆発的に普及しました。

過去に登録された 粋な 史料の数々

情報処理技術遺産



MUSASINO-1B

コレクターズモバイルのひろば



内航船舶無線電話装置
NS-1号
JAA-333

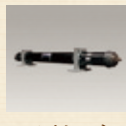


自動車電話
TZ803A

モバイルネットワークの技術

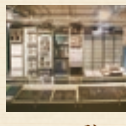


3F



マイクロ波4GHz帯用進行波管
4W75A

トランジスタ技術



D10形自動交換機
(電子交換機)

ノートの技術



大阪万博の携帯電話
(ワイヤステレホン)

技術革新と多様化の時代

1F

第四版

粋な 展示

ベル電話機の音質体験

当時のように声が聞こえていたか体験できる!



モールス電信機の通信体験
モールス信号の電鍵をたたいてみよう!

愛称「ていぱーく」で親しまれた通信総合博物館が、二〇一三年八月三十一日をもって四九年の歴史の幕を閉じました。今回の特別企画展では「ていぱーく」からNTT技術史料館へ寄贈いただいた史料を展示しています。
〈主な展示物〉
・明治三一年に長距離通話用として採用されたソリッドバック磁石式壁掛電話機
・明治三三年に東京の京橋のたもとに建てられた日本初の街頭公衆電話ボックス
・日本初のポケベル端末 ポケットベルB型RC11

二階で「ていぱーく寄贈展」を開催!

色味や質感などリアルに再現しました!

粋な プレゼント



「ていぱーく」から寄贈された「日本初の街頭公衆電話ボックス」がパークラフトになって登場します! NTT技術史料館でしか手に入らないレアなパークラフトですので、この機会にぜひご来館ください。
ご来館いただいた方にオリジナルパークラフトをプレゼント!

毎週木曜日午後、二階公開実施中!
二階で特別企画展「ていぱーく寄贈展」開催中!
ロビーで、A形ステップバイステップ交換機を動態展示!